

令和4年度 文京区立礪川小学校 授業改善推進プラン

＜ 体育 ＞

学年	現状分析	具体的な授業改善策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、伸び伸びと体を動かすことができた。 ・自分たちで遊びの場を工夫するなど、考えて取り組むことができた。 ・順番やきまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすることに課題がある。 ・体ほぐしの運動遊びでは、心と体の変化に気付いたり、みんなと関わり合ったりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心と体の変化に気付くことが苦手な児童には、表情を表す絵や感情を表すカードを示し、自己の心や体の変化のイメージができるようにする。 ・友達と楽しく運動することが苦手な児童には、友達とハイタッチや拍手で喜びを共有するなど、共に運動遊びをする楽しい雰囲気を実感することができるようにする。 ・学習カードなどを用いて、できたことを視覚化する。また、友達と教え合ったり、認め合ったりする場を用意して、達成感を味わえるようにする。 ・安全な運動をするためには、どのように動いたらよいかを実技や図で具体的に示し、運動の仕方を伝え、繰り返し指導していく。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動に意欲的に取り組む児童が多くいる一方、苦手意識をもつ児童もいる。 ・体育の時間になると、周りが見えなくなったり、集団での行動についていくことが難しくなったりして、規律を守ることに課題が見られる児童がいる。 ・表したいことが伝わるよう、動きを工夫している。友達と協力して、オリジナルの動きを考えたり、表現したりしている。 ・友達の動きを見て、よいところを見付けている。 ・体を動かす機会が少なく、運動の基本となる動きが十分に経験できない児童への手立てが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手意識をもつ児童が楽しんで活動できるよう、学習の形態や活動内容を工夫する。 ・体育の授業内での規律を児童と毎時間確かめ、徹底する。よい姿を褒め、前向きに取り組むことができるように声掛けする。 ・どのように動いたらよいか、実技で手本を見せ、具体的に示す。学習カードを活用し、意欲付けをする。 ・休み時間を活用して、積極的に体を動かすように促す。

3年	<ul style="list-style-type: none"> ・運動する楽しさを味わうことができる児童が多い。 ・苦手な技能を高めるためのめあてのもち方や振り返りの仕方に課題が見られる。 ・運動経験に偏りがある。様々な運動を通して、体力を高めていくことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に楽しく活動ができるように、その都度体育の決まりを確認する。自分たちでゲームのルールを考え、運動の楽しさを感じられるようにする。 ・授業の中で明確なめあてをもって取り組めるようにし、常に振り返りの時間を設けることで次時への課題がもてるようにする。 ・日々の授業、体育朝会、リズムなわとび等を通して、多様な運動に取り組みせていく。家庭とも連携し、日頃から家庭で運動をすることを働きかけていく。
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・運動に意欲的に参加できる児童が多い。 ・プレルボールでは、ボールの操作などに課題が残った。ただ、チーム内で積極的に話し合い、立てた作戦を生かそうとする児童が多く見られた。 ・コロナ禍で、体育の授業や休み時間の遊び方に制限があり、技能を身につけさせるために工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が楽しめるようなルールを子供たちと考え、運動する楽しさをさらに感じられるようにする。 ・今後も、グループでの話し合いや振り返りの場面を設定し、学習に生かせるようにする。 ・運動のヒントとなる資料や教師の手本を見せ、課題の解決に活用させる。 ・友達との距離を保って運動できる工夫を増やしていくよう、授業を構成していく。また、児童への声掛けも十分に行う。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・走の運動に意欲的に取り組む児童が大変多い。 ・グループ活動では、課題を解決するために積極的に話し合いをする児童が多く見られた。また、友達同士でアドバイスをし合うことで、運動を苦手としている児童も積極的に活動する姿が見られた。 ・チーム戦では、その競技が得意な児童をリーダーとし、リーダーを中心に不得意な児童への支援をしながら練習や試合をすることができた。 ・学習の振り返りで自分の課題を具体的に記述できない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、運動に楽しく取り組める活動を用意し、運動することの楽しさや意義を理解させ、学習意欲を全体的に高めるようにする。 ・引き続き、グループ活動を取り入れ、どの児童も運動の楽しさややりがいを感じることでできる授業を構成していく。 ・学習カード等を活用し、常に考えながら運動に取り組む姿勢を作る。その授業で何を学び、次にどのように繋げていくのかを振り返るように声掛けをする。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・考えて運動し、自己や仲間の課題に気付き、アドバイスや協力をして、よりよく運動しようとしている。 ・技能面で差はあるが、運動に対して意欲的に取り組んでいる。 ・振り返りでは、ワークシートを用いて記入させているが、書く際の視点に関する指導が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を解決するためのヒントとなる資料を提示し、活用させる。 ・ICT機器を活用し、自己や仲間の動きを視覚的に分析し、課題を見付けられるようにする。 ・運動量の確保や場の工夫を行い、技能に課題のある児童への手立てを講じる。 ・ワークシートを書く際の視点を明確にしておき、意識して学習に取り組むようにする。